

# ライフサポートだより

Vol.187 2019年4月号

(社福) ライフサポート協会  
〒558-0054  
大阪市住吉区帝塚山東5-10-15  
TEL 06-6676-0753  
ホーム <http://www.lifesupport.or.jp>  
メール [info@lifesupport.or.jp](mailto:info@lifesupport.or.jp)

2018年度 実践報告会

2019.2.23(土) 14:00-16:30 (受付開始: 13:30) 住吉総合福祉センター2階大広間 (住吉区帝塚山東5-8-3)

case 1 支援対象者ではなく、支援主体であるために (報告者: 法人 藤野 節子)

case 2 ガイドヘルパーは障がい者支援の最前線ゆえに悩むし、だから楽しい (報告者: 障がい者支援施設 住吉総合福祉センター2階大広間 大橋 奈美)

case 3 商品や交流スペースを通して、お客様にお届けできるものは... (報告者: ならら、美田 麻希)

case 4 親子通所の実践の可能性 (報告者: SOGAMI ならら (児童発達支援) 美田 麻希)

申し込み・お問い合わせは裏面 →

2月23日(土) 14:00 から、住吉総合福祉センター2階大広間におきまして、『2018年度 実践報告会』がおこなわれました。

## 「支援の質向上委員会」がめざすこと

- 事例検討でもない、答えやノウハウを学ぶ場でもない。
  - 「多様な答えやノウハウ」を想像し、また創造することができる価値観を、自らの中に置きお互いに磨き合う場である。
- 知識を獲得し、価値を学び、技術を研鑽する研究会を経て、さまざまな部門の職員が、お互いの仕事内容(支援の質)を高め合っていくことをめざしています。

## 実践報告ケース1

●支援対象者ではなく、支援主体であるために

『特別養護老人ホームなごみ』からの報告です。『なごみ』で生活されているご利用者の暮らしに焦点を当て、ご利用者の「やりたいこと」、「できること」を一緒に取り組まれていました。

これまで、生活の一部であった洗濯について、『なごみ』で生活されるようになってからは、すべて職員がおこなっていました。そうしたことに「ご本人の“できること”まで奪っていないだろうか？」という疑問を感じ、ご利用者と一緒に、洗濯を生活の中に取り込んでいく作業をおこなわれました。その中で施設生活ならではのさまざまな違和感に気づき、これにもご利用者と一緒に向き合っておられます。



## 実践報告ケース2

●ガイドヘルパーは障がい者支援の最前線ゆえに悩むし、だから楽しい

『じらふヘルパー』からの報告です。余暇の中で遊びを通して、ご利用者の「やりたいこと」、「できること」を増やしていく取り組みをおこなわれていました。

飲食店へのお出かけで、飲み物のサイズを尋ねられた際、「空のカップを見せていただけますか？」と、同行しているヘルパーが店員さんをお願いすることで、サイズを口頭で確認するよりも視覚的に確認することで、注文を聞くことができる、ということを理解していただけます。そうしたきっかけを作って発信することもヘルパーの仕事として取り組まれています。

## 実践報告ケース3

●商品や交流スペースを通してお客様にお届けできるものとは...

『らふら』からの報告です。『らふら』では、障がいのある方々が作業所で手作りされた雑貨を仕入れて販売しています。『らふら』ではどのような価値をお客に提供するのか?といったお店のコンセプトが定まっていませんでした。(次ページに続く)



(1 ページの続き) そこで、さまざまな方法でお客様のニーズを図っていく取り組みをされ、その中でも実際に購入されたお客様の声を活かすことを考えました。お客様の多くに「誰かへのプレゼントに」といった声があり、相手への想いを大切にされていることが感じられました。「それでは、商品の作り手の想いも大切にしよう」ということから「障害のある方々が作業所で手作りした」ことを前面に出していくことが決まりました。そこから『らふら』のコンセプトとして「大切な人を想うちょっとした時間」、「普段の暮らしの幸せ」、「多様な人との交流の機会」が生まれました。



## 実践報告ケース4

### ●親子通所の実践の可能性

『SODATERUじらふ』からの報告です。子どもの支援を通して親子をターゲットとした支援を展開されています。主には就学前の子どもの発達支援をおこなっていますが、子どもを育てる親の安心や気持ち寄り添い、大切にされている取り組みをおこなっています。

子どもの支援においては、「怒るでも褒めるでもなく、勇気づける」ということを大切にしています。「褒める」ことは結果を伴わなければなりません。しかし、結果はどうあれ子どもの取った行動を承認することを伝えることで、子どもの「やってみよう」を支える取り組みです。

### 切言者の大橋奈美さん（医療法人ハートフリーやすらぎ常務理事）からのコメント

ケース1について、「気づき」というキーワードが挙げられます。特別養護老人ホームという生活環境における違和感に気づき、ご利用者の「やりたいこと」、「できること」に気づき、それらを奪ってきたのではないかと、ということに気づいた事例です。そこから、ご利用者と一緒にその人の暮らしに寄り添っていくところが素晴らしいですね。今後はこうした特別扱い（個別対応）について、どう向き合っていくか、そして、生活や暮らしはきわめて個別的であり、みんな同じように対応すれば良いものではない、ということが考えられますね。

ケース2について、飲食店で「空のコップを見せていただけますか？」という発信が店員さんへの気づきを促している事例です。こうして店員さんが変わり、店が変わり、やがて社会が変わっていく、そんな素晴らしい事例だと思えます。

ケース3について、『らふら』におけるマーケティング戦略についての事例かと思えます。どのようにして販売を成功させるか、そのための戦略が、結果として素晴らしいコンセプトを生み出すことになりました。事業コンセプトが定まっていなかったことによって、大切にすること（価値）を見つめ直すことができたのではないのでしょうか。

ケース4について、子どもを育てる親にとっても「安心できる場」であるということです。「やってみせる」、「子どもの行動を待つ」、「そのことを認める」ことの大切さを、親も学び、子育てが変容していく、という親子の支援を体現していますね。親と子どもの「やってみよう」を支える、素晴らしい取り組みですね。



## わいず ばー かいまい Y's BAR を開催しました!

今回で9回目となりました。法人職員、地域の方など総勢40名のお客様が来られ、大盛況となりました。今回、スペシャルゲストとなった和井田さんでしたが、変わらず、ダジャレ連発のマスターぶりを発揮してくれました。また、井上さんも、自前の着物を着られ、上品なママとしてカウンターに立ってもらいました。



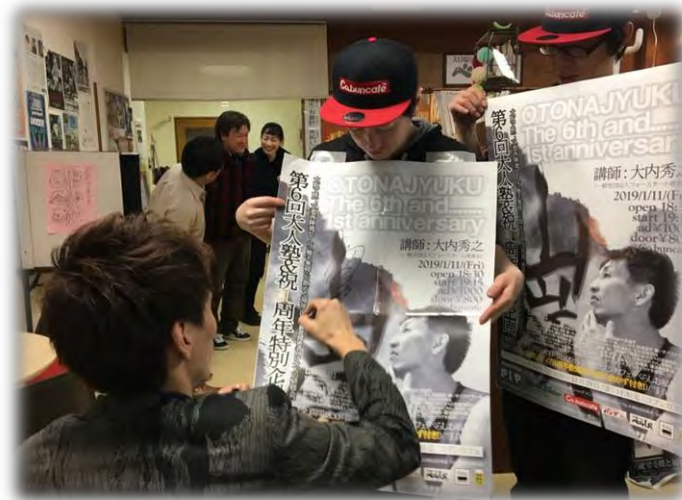
メニューは、牛筋煮込み、フライ盛り合わせ、枝豆の3種盛とフードバンクさんの提供もあり、豪華なラインナップとなりました。牛筋は前日から煮込み続け、深みのある一品に仕上がりました。

今回、初めて参加されたご利用者も「こんな楽しい夜は、はじめてや！今度は僕も手伝いたい。月に一度はしてほしい」とうれしい声をいただきました。4月で9年目となる「大領であい」ですが、これからもご利用者のみなさまと楽しい企画をしてみたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



## おとなじゆく 大人塾とは・・・

社会福祉法人ライフサポート協会の有志により、2018年、福祉従事者を応援する研修として生まれました。西陣麦酒計画、簡単に説明いたしますと、障がいのある方々のお仕事作りとして地ビールの工場を作業所として作ろうという計画の発起人である、児童精神科医の門眞一郎先生をお招きし、第一回ははじまりました。この伝説となった第一回から数え、今回で第六回、そして記念すべき一周年となります。昨年、まさに、同じ日に、倒れた仲間が再び立ち上がり、歩み出すまでの一年間でもありました。皆様も、毎日、色々あると思います。楽しむ、この一見とても簡単な事が出来なくなる時は誰にでもあると思います。子どもは楽しむという言葉も知らずに楽しんでいるのに、大人になれば簡単ではなくなります。仕事や子育てや介護や、人間関係や、飽きや、お金、色んなしがらみが絡まってきて、つくづく生きていくという事は大変であります。でも、人生は一回です。楽しまなければ、自分から動き出さなければ、勇気を出して土砂降りでも外に出て行かなければならない時があります。



我々は数々の構想から、打ち合わせ、会議を重ね、沢山の出会いと別れを繰り返し、沢山の記憶を無くし、ここに至りました。ここまでの道中は皆、無我夢中でした。長く、険しく、そして楽しく、しかし振り返ればあつという間でした。我々は新たに「前を向いて進もう」というスローガンのもと、第二幕の幕開けを行います。一か八か、やってみれば良くなる事もあります。最後に笑えたら、それまでの苦労も一緒に笑える、そんな思いが詰まった研修です。ここは福祉従事者だけではなく、医療、教育関係者をはじめ、様々な職種、お子様や学生さん等なども参加され、多様性に富んだ交流が生まれる場です。

西陣麦酒計画で出来た、京都の地ビール、柚子無碍（ゆうずうむげ）など、美味しいドリンク、美味しいフードを飲み食べしながら、楽しく、学んで下さい。

# おみせ・イベント・相談会～ぜひおこしく下さい

	べらしお福祉住吉東店	コブン・カフェ	手づくりショップパンプ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメンが名物	おいしいコーヒーとサンドイッチがですか	オガリ作業所のお店。パンやパウンドケーキが売りです	阪和線我孫子町駅近く。安くておいしいランチをどうぞ
開店曜日	月～金	月～金	月～金	火・水・金ランチ 月・木はカフェ
開店時間	11:30～13:30	9:00～14:30	10:00～16:00	10:30～14:30
備考				
	まちかど喫茶(るーぶ)	まちかど喫茶(よさみ野)	田辺大根堂	FamilyFriendlyらふら
こんなお店	"なごみ"でコーヒーとケーキはいかがですか？	なごみ玄関でとれたて野菜と壱岐の乾物販売	子育て支援のグッズ販売しています	
日にち	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週木曜日	火～土
時間	10:00～15:00			10:00～16:00
備考				
	ごはん倶楽部	なごみ食堂	るぴなすみんなの食堂	みんなのマーケットるぴなす
こんなお店	オガリで夕食作ってみんなで食べましょう	特養なごみ入居者さんといっしょにカレーを	高倉台のみんなの食堂。土曜朝集合	堺市南区高倉台の就労支援スーパーです
開催日・開店日	4/18(金)	4/16(火)	4/6(土)	月～土
時間	17:00～19:30	16:00～19:00	11:00～13:00	10:00～17:00
備考	参加費400円	参加費100円	こども100円おとな300円	
	きまぐれカフェ	オレンジカフェ ななしのごんべい		
場所	なごみ地域交流スペース	であい2階地域交流スペース		
開催日	4/22(月)	4/13(土)		
時間	10:00～15:00	14:00～16:00		

## せいしんしょう しや こくざりやこくせいぼしやう し 精神障がい者ガイドヘルパー講座受講生募集のお知らせ

### 5月コース

講義：5月4日(土) 5月11日(土) 9:30～17:30

実習：5月14日(火) 15日(水) 16日(木) 17日(金)  
18日(土) 21日(火) 22日(水) 23日(木)  
24日(金) 25日(土) 28日(火) 29日(水)  
30日(木) 31日(金) のいずれかの日で3時間  
(実習内容により日程が変更になる場合もあります)

閉講式：6月1日(土) 10:00～11:30

◇会場：住吉総合福祉センター  
(南海高野線住吉東駅東出口より100m)

◇募集〆切：4月24日(水)  
受講申込書をFAXでお申し込み下さい。

◇募集定員：20名

◆お問合せ：住吉総合福祉センター(担当：高橋)

☎：06-6678-7572

fax：06-6678-7573